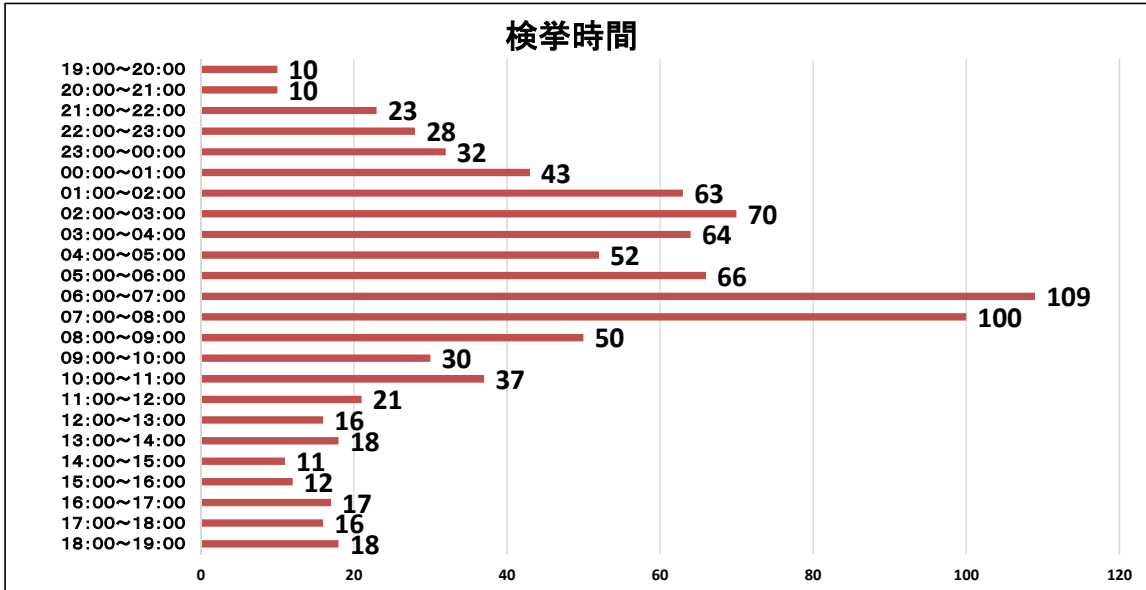


令和7年中の飲酒運転実態調査票に基づく分析結果

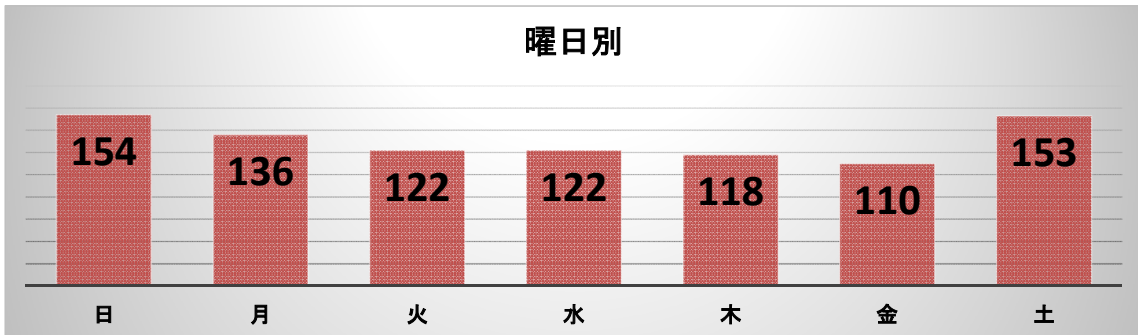
(令和7年中の飲酒運転で検挙された者(1,097人)のうち、約8割の実態調査から)

【検挙時間】 ※ 調査人数916人



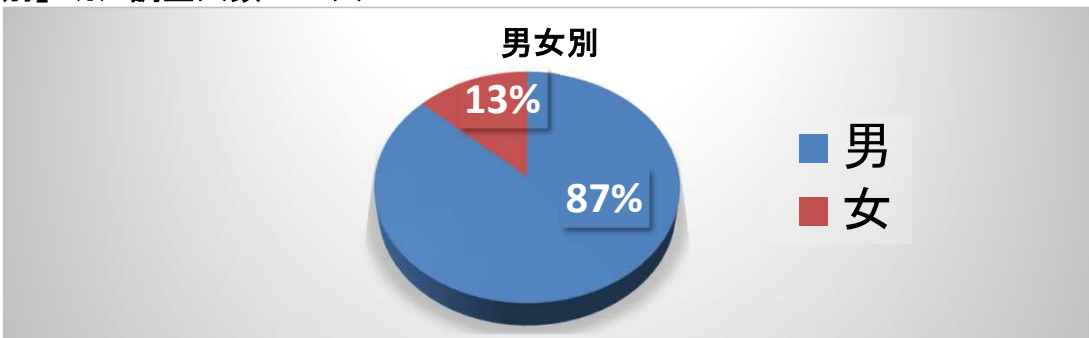
○ 6:00~9:00の被検挙者が259人(28.3%)と最も多く、3:00~6:00が182人(19.9%)と、深夜から早朝にかけての検挙が全体の約半数を占めている。

【曜日別】 ※ 調査人数915人

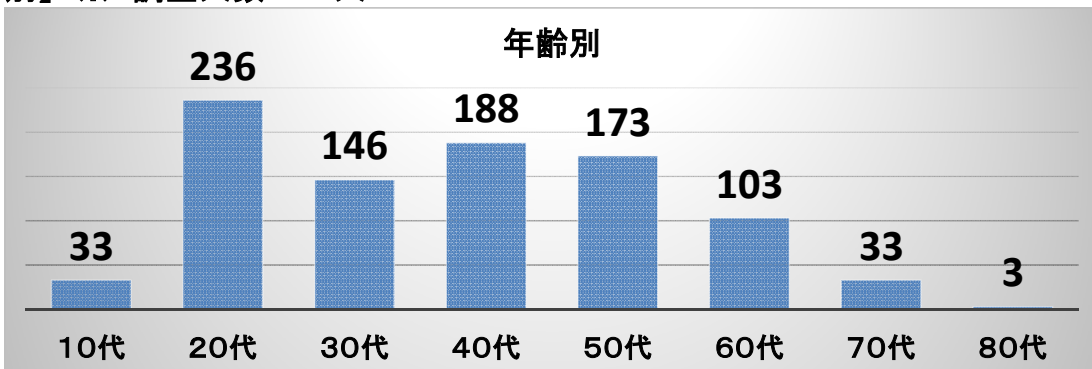


○ 土曜日と日曜日の検挙割合が比較的高く、土・日・月で全体の約半数を占めている。

【男女別】 ※ 調査人数915人

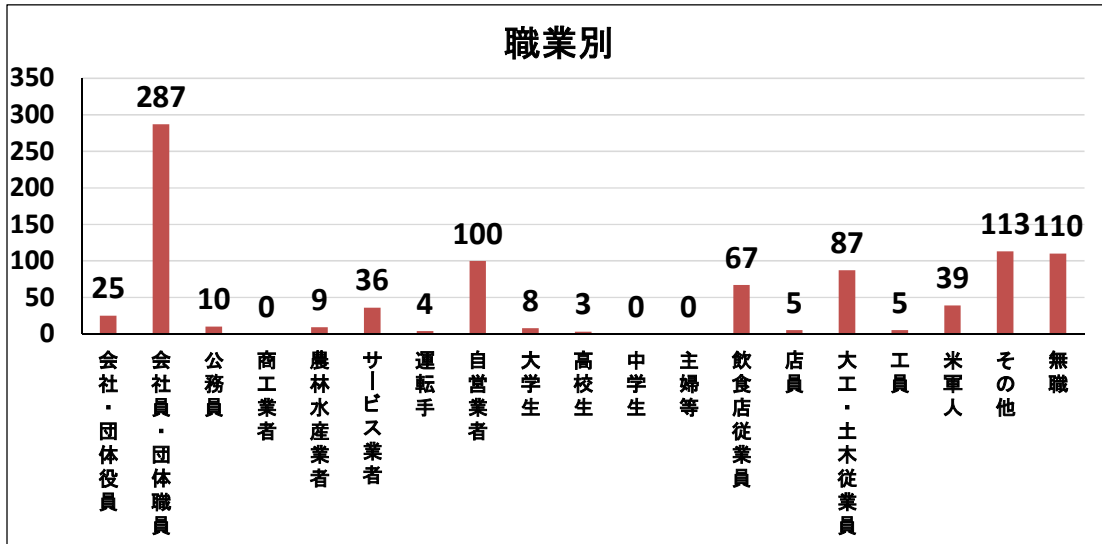


【年齢別】 ※ 調査人数915人



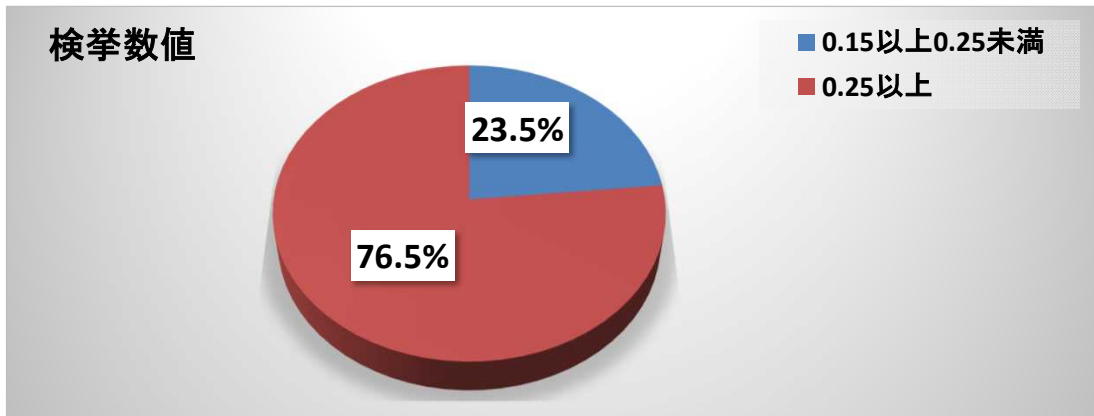
○ 20代が最も多く、次いで40代、50代の順となっており、20代から50代で全体の約8割を占める。

【職業別】 ※ 調査人数908人



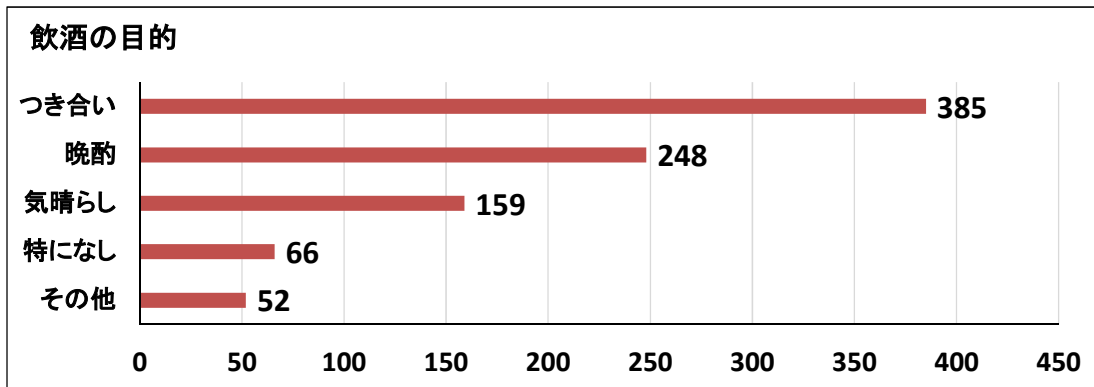
○ 「会社員・団体職員」の割合が31.6%と最も多く、次いで「無職」、「自営業者」の順となっている。

【検挙数値】 ※ 検挙時、身体に保有していたアルコール濃度(呼気1リットルあたり) ※ 調査人数912人

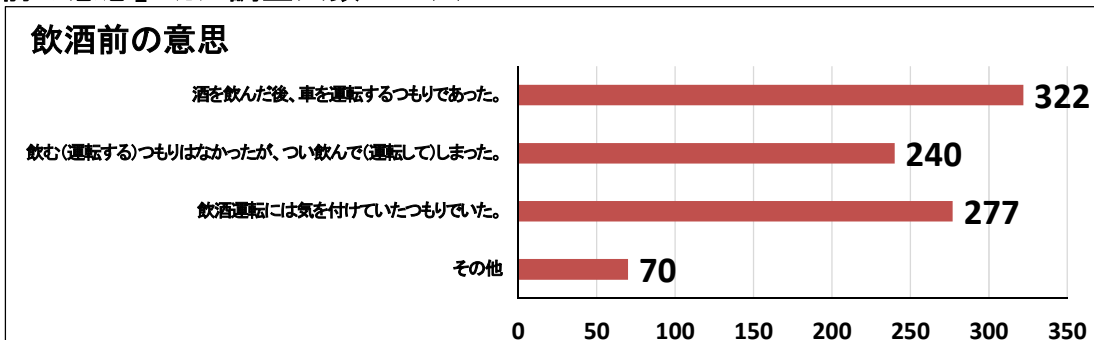


○ 被検挙者の約3/4が、0.25mg以上の数値で検挙されている。

【飲酒目的】 ※ 調査人数910人

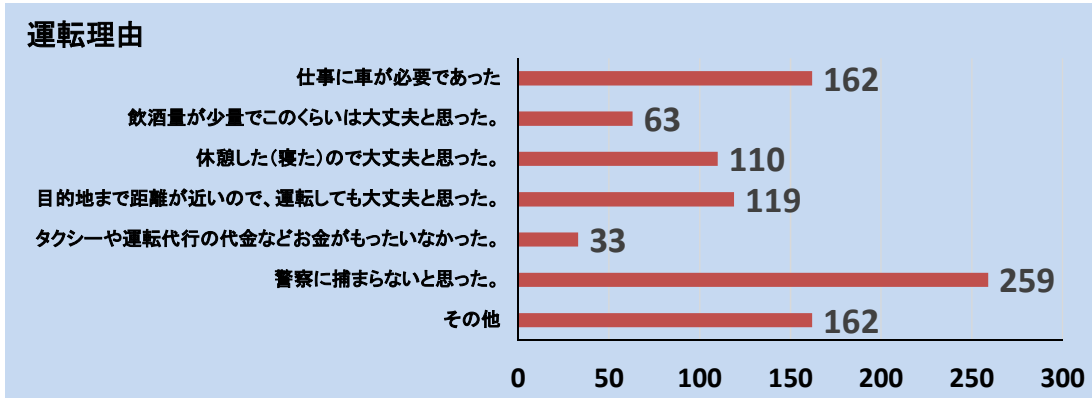


【飲酒前の意思】 ※ 調査人数909人



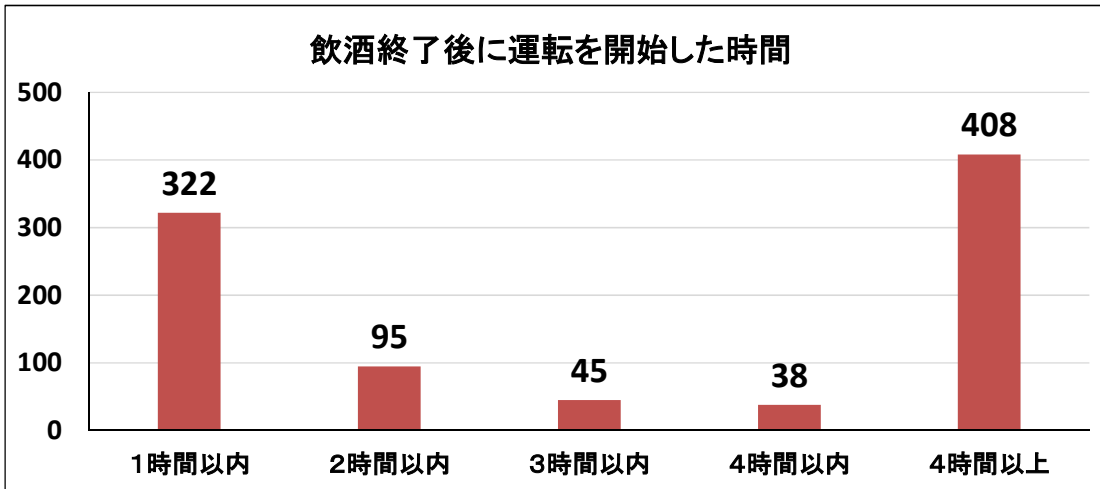
○ 「酒を飲んだ後、車を運転するつもりであった」が322人(35.4%)と最も多く、次いで「飲酒運転には気を付けていたつもりでいた」が277人(30.5%)となっており、依然、遵法精神に乏しい運転者がいる。

【運転理由】 ※ 調査人数908人



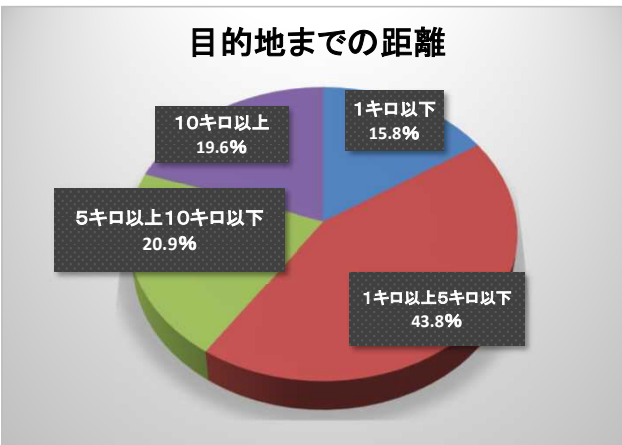
- 「警察に捕まらないと思った」が259人(28.5%)と最も多い。
- 「その他」の理由として、「早く家に帰りたいかった。」、「代行が来なかった。」等、自己都合を理由とする者が多い。

【飲酒終了後の運転を開始した時間】 ※ 調査人数908人

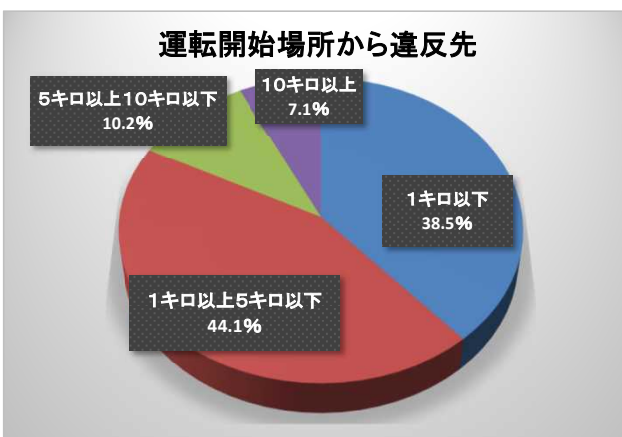


- 飲酒終了後4時間以上経過して運転した者は、全体の4割超を占めている。飲酒した翌朝の運転によるものと窺われ、適正飲酒、正しいアルコールの知識に関する普及啓発の強化が求められる。

【距離関係】 ※ 調査人数911人

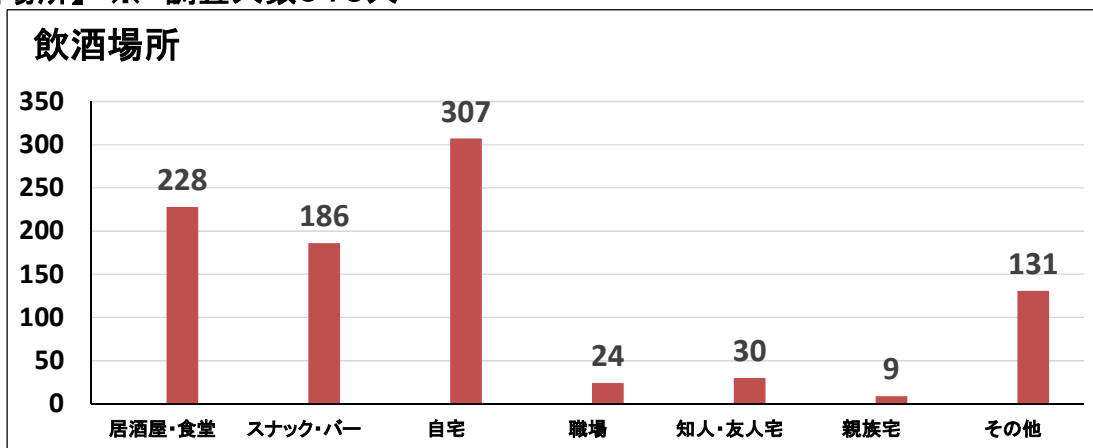


- 検挙された者の約6割が、目的地までの距離が5キロ以下であり、近距離でも運転する者がいる。



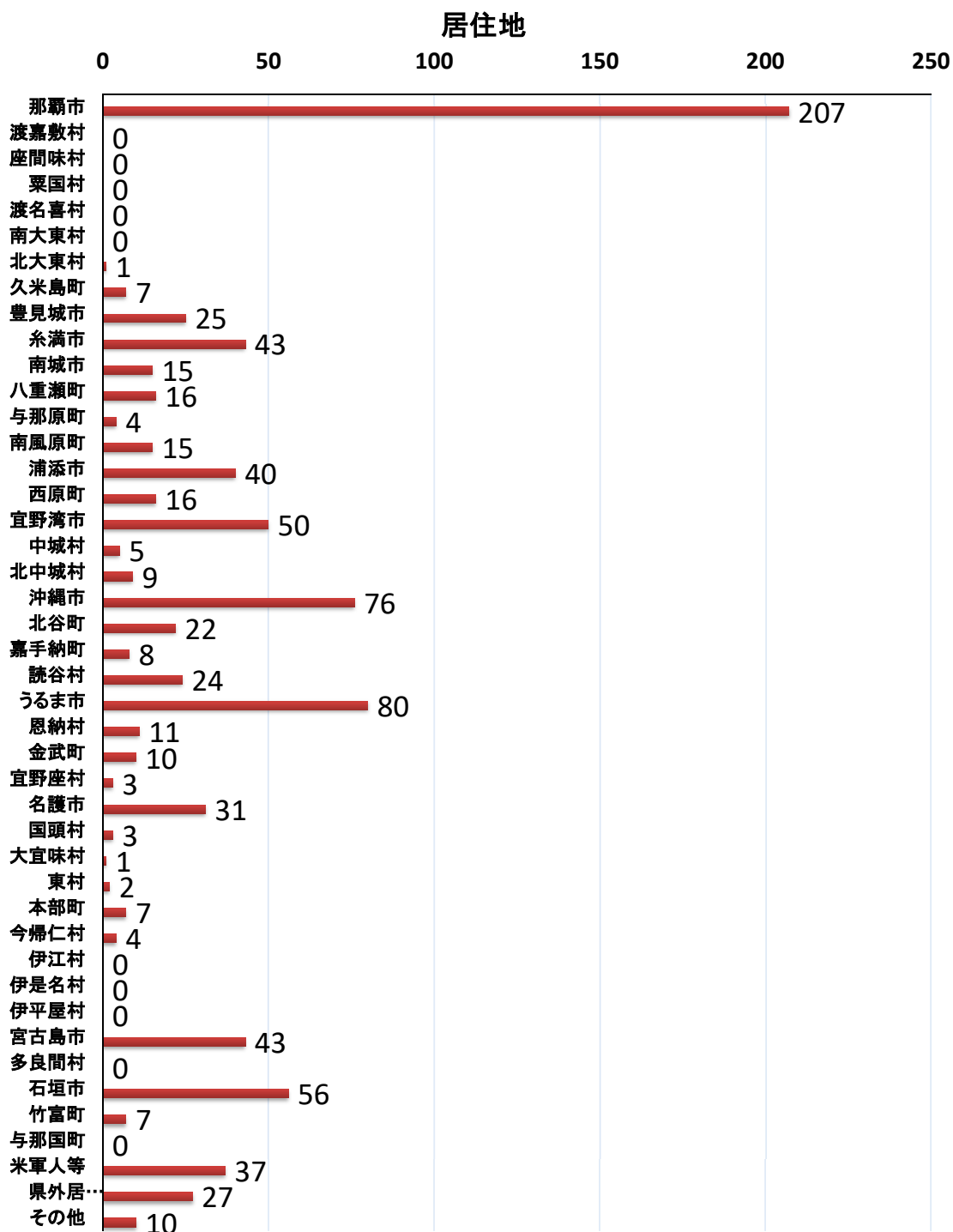
- 検挙された者の約8割が、運転開始から5キロ以下で検挙されている。

【飲酒場所】 ※ 調査人数915人



○ 最も多いのは「自宅」で、次いで「居酒屋・食堂」、「スナック・バー」の順となっている。

【居住地関係】 ※ 調査人数915人



○ 多い順に那覇市、うるま市、沖縄市となっており、市街地居住者の割合が高い。